

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	関寛人 (セキヒロト)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学部 4 年
発表年月 または事業開催年月	2026 年 3 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本農芸化学会 2026 年度京都大会
発表者(※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	関 寛人, 井上 七海, 三又 麗奈, 時田 隆弘, 丸亀 祐貴, 矢野 敏史, 原 太一
発表題目(※学会発表の場合のみ記載)	オートファジーを活性化する D-アミノ酸の探索とその細胞種特異的機能の解析
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p>オートファジーは細胞内成分を分解・再利用する機構であり、その活性化は老化や疾患の予防に寄与すると期待されている。近年、食品によるオートファジーの活性化が注目されており、我々は健康増進と密接に関連する発酵食品に着目し、オートファジーへの影響について研究を行ってきた。本研究では、発酵過程で産生される D-アミノ酸に着目し、オートファジーを活性化する D-アミノ酸の探索と作用メカニズムの解析することを目的とした。近年、哺乳動物での生合成が限定的である D-アミノ酸が生体中に存在することが示され、様々な生理活性を有することが報告されている。一方で、オートファジーへの影響については不明な点が多い。また、D-アミノ酸種により、組織特異的な生理作用を示すことが示されている。そこで、D-アミノ酸のオートファジー活性に対する影響を解析した。</p>	



※無断転載禁止